

- 1 日時 令和5年9月 日（金）第1限目 8時55分から9時45分まで
- 2 場所 教室棟4階 1年4組教室
- 3 学年・組 1年4組40名
- 4 教材・教具 教科書：「新簿記（実教出版）」
副教材：「最新段階式日商簿記検定問題集四訂版3級（実教出版）」
その他：電卓、8桁精算表ワークシート②、タブレット端末、プロジェクタ、ロイロノート・スクール（株式会社LoiLo、以下「ロイロノート」と表記）

5 単元計画

(1) 単元名 「第19章 8桁精算表」

(2) 概要（目標）

何ができるようになるのか	
決算整理など決算に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適切な決算整理と財務諸表の作成について、組織の一員としての役割を果たすことができるようになる。	
何を学ぶのか	どのように学ぶのか
財務諸表を作成するための精算表を作成する方法について学ぶ。	精算表の作成手順を個別学習で理解し、作成の留意点についてグループで話し合う活動を通じて、主体的かつ協働的に学ぶ。

(3) 評価規準

【A】知識・技術	【B】思考・判断・表現	【C】主体的に学習に取り組む態度
精算表について理論と実務とを関連付けて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	精算表の作成の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。	精算表について自ら学び、適正な決算整理と精算表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

(4) 指導及び評価計画

指導時間 本時	各時間の指導内容	重点評価 記録に残す評価	評価方法 (※Bの基準)
1	8桁精算表の作成手順 演習問題（問題集）	【A】	定期考査（中間）
2	演習問題（問題集） 個別学習	【B】	定期考査（中間） 8桁精算表ワークシート① ※8桁精算表の作成の方法の妥当性と実務における課題を見だし、その課題におおむね対応している。
3	個別学習 グループ学習	【C】	8桁精算表ワークシート② ※8桁精算表の作成についての留意点に気付き、8桁精算表を適正に作成するために粘り強く取り組もうとしている。

6 本時の学習

(1) 学習内容

指導内容	8桁精算表
学習内容	8桁精算表の作成についての留意点を考える。

(2) 概要 (目標)

精算表について自ら学び、適正な決算整理と精算表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができるようになる。

(3) 授業展開

(○…「記録に残す評価」、●…「指導に生かす評価」)

段階	時間	学習内容	学習活動	観 点	評 価	指導の留意点
						評価のポイント
導入	5	<ul style="list-style-type: none"> 前時の復習 本時の目標確認 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.170～172 を確認する。 本時の目標と評価基準を確認する。 			<ul style="list-style-type: none"> 精算表の作成手順について確認させる。 8桁精算表ワークシート②を配付し、評価基準を確認させる。
展開	20	<ul style="list-style-type: none"> 個人学習及びグループ学習 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に実施した8桁精算表ワークシート①の内容を思い出しながら、解答をする。 他者に伝わるように表現の仕方に注意して記入する。 他者の発表を聞き、自分の考えと違うことは適宜メモを取る。 	【C】	○	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習内容を思い出させながら、個人で「記入」させる。 個人の考察時間（5分）をタイマー機能で計測し、プロジェクトを使用してスクリーンに投影し、考える時間とまとめる時間の配分に留意させるよう伝える。 単語や箇条書きにならないように注意させる。 グループは4人1組とする。 個人の発表時間は最大2分までとし、タイマーをスクリーンに投影する。 自分の考えとは違う考えで正しいと思ったことは、青または黒のボールペンでメモを記入させる。
	20	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習の報告 	<ul style="list-style-type: none"> グループの考えをまとめ、ロイロノートに提出し、順次発表をする。 他グループの発表を聞き、自分のグループとの意見を比較する。 	【C】	●	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で出た意見をまとめ、ロイロノートに提出させる。 提出するのはグループの中の一人であるが、他人任せにせず、提出する内容を確認させるなど一人一人が責任をもって課題に取り組ませる。 「提出された回答」をプロジェクトで表示し、考え方は一つではないことを理解させる。 自分のグループと違う考えで正しいと思ったことを赤字でメモを記入させる。
まとめ	5	<ul style="list-style-type: none"> まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の授業を振り返り、Microsoft Teams の Reflect を使用して気持ちを回答する。 	【C】	●	<ul style="list-style-type: none"> 「学習の取り組みについて」振り返らせ、入力状況について机間指導と並行して確認する。

(4) 学習支援 (評価Cへの手だて)

Cと判断する具体的状況	8桁精算表の作成についての留意点の把握が不十分であり、適正に作成するために粘り強く取り組む態度が見られない。
学習支援の具体的内容	グループの意見や他グループの発表内容を確認し、もう一度自分の考えを記入する。